

Easy Editor 基本編

本編では、システムトレードのストラテジー作成時に使用する Easy Editorの各項目や使用方法、売買シグナルの概要や 発信タイミングについて説明します。

Easy Editor基本編 目次

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

目次

■ Easy Editor表示方法について

- ◇ Easy Editor表示方法 P3

■ Easy Editorについて

- ◇ Easy Editor画面構成 P4
- ◇ 使用可能シグナル（価格・ローソク足パターン） P5
- ◇ 使用可能シグナル（資金・時間・ポジション管理） P6
- ◇ シグナル登録画面（買建て・売建て） P7
- ◇ シグナル登録画面（転売・買戻し） P8
- ◇ “ずらし”機能とMACD等のオシレーター系“しきい値”設定 P9
- ◇ シグナル登録画面（資金・時間管理） P10
- ◇ 選択したシグナルのパラメータ・条件設定画面のパターン P11

■ お取引上の諸注意事項について

- ◇ 必要証拠金とレバレッジコントロール P14
- ◇ 複数通貨ペア・同一通貨ペアの同時全自動取引
Tick足での全自動取引について
シグナルチャート表示枚数・ワークスペース管理
全自動取引利用中に電源OFFにした場合

◇Easy Editor表示方法について

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ Easy Editor表示方法 :

Easy Editorを表示するには、初めにシストレFXナビゲータにログインをする必要があります。

● Easy Editor画面

1 ① シストレFXナビゲータ表示後、「システムトレード」→「シグナルチャート」クリック

2 ② 「Easy Editor」をクリックします。

3 ③ 「Easy Editor」が表示されます。

【Easy Editor Configuration Window】

- 条件
価格
ローツ足(バージン) / 通貨管理 / 時間管理 / ポジション管理
- 選択したシグナル × 買高、買戻しのみを意味した場合、シグナルは発生しません。
販売で 買高 買戻して 買戻し
- AND
OR
AND<=>OR
- 初期化
- 【価格】の <傾向>
- 条件
価格
ローツ足(バージン) の
期間前との比較結果が
下落 している状態が
3 : 期間以上続いているとき
- パラメータ
価格
終値
さかのぼる期間
0
- インストール時の設定に戻す
初期値として保存

◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

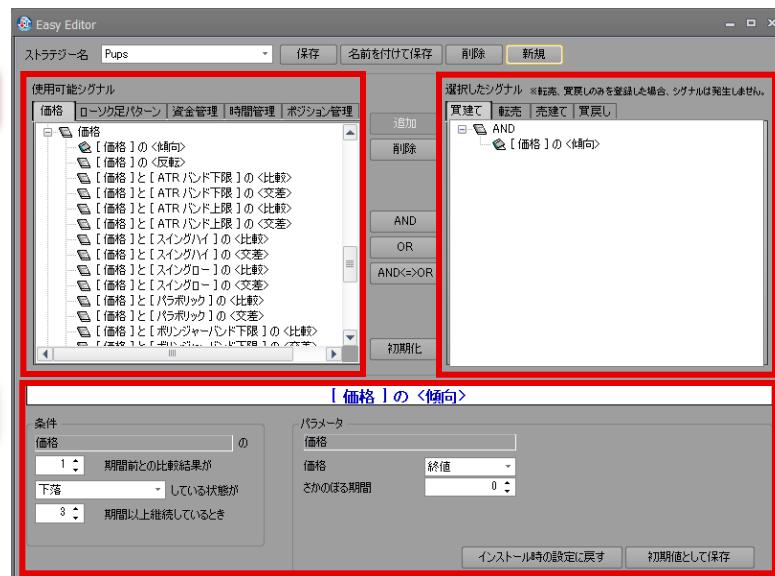
■ Easy Editor画面構成：

Easy Editorは、シグナルチャートに搭載されているストラテジー作成画面です。

この画面からストラテジーの作成や、作成したストラテジーのパラメータや条件変更をすることができます。

Easy Editorは大きく分けて3つの項目から構成されています

● Easy Editor画面



① 使用可能シグナル

はじめに①の画面より、全自动取引で使用したいシグナルを選択します。「多様なテクニカル分析」や「ローソク足の価格の動き」、「時間指定をして決済」する方法など取引シグナルは様々です。

⇒ **本章 P5**

② シグナル登録画面

①の画面上で選択したストラテジーを登録する画面になります。「買建て」「転売」「売建て」「買戻し」の4種類から構成されています。①画面の各シグナルを選択し「追加」ボタンで設定できるようになります。※「削除」ボタンで削除可能です。

⇒ **本章 P6**

③ パラメータ・条件設定画面

シグナル選択・登録後、具体的なインジケーターのパラメータ・売買シグナルを発信する条件を設定する画面になります。

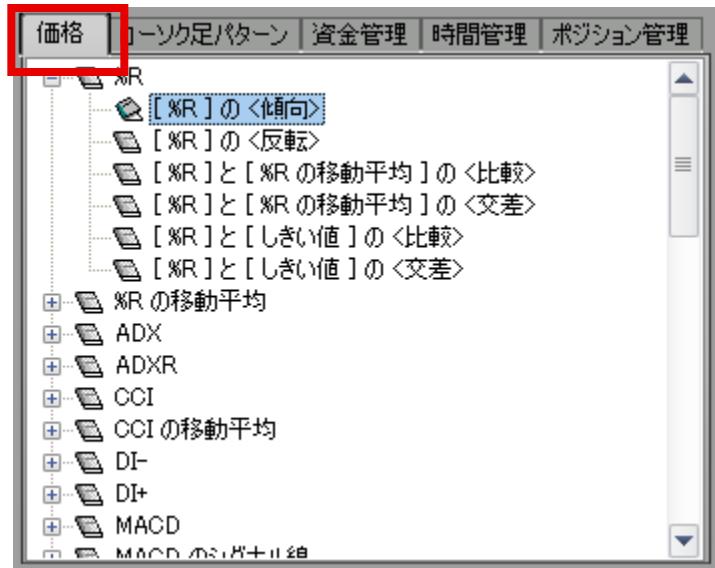
⇒ **本章 P7~12**

◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

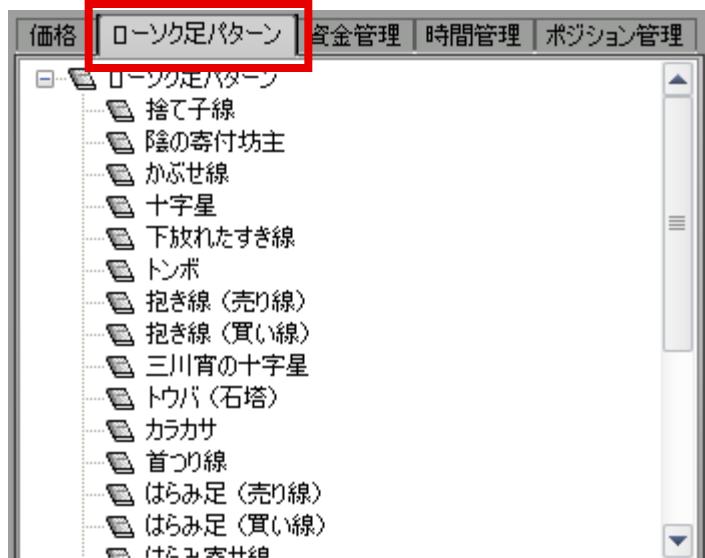
■ 使用可能シグナル :

シグナルチャート上に表示させる売買シグナルを発信する元となるコマンドを選択する画面です。
 「価格」「ローソク足パターン」「資金管理」「時間管理」「ポジション管理」から構成されています。
 「資金管理」や「時間管理」は利益目標やストップロスの設定を行うコマンドになるため、
 主に建玉を決済するときに使用します。



● 価格

移動平均やMACD等、お馴染みのテクニカル分析24種類に加え、マイナーなものまで搭載しています。
 さらに、チャート上に表示している通貨ペアのローソク足の動き・習性などを活用したシグナル発信設定も可能です。



● ローソク足パターン

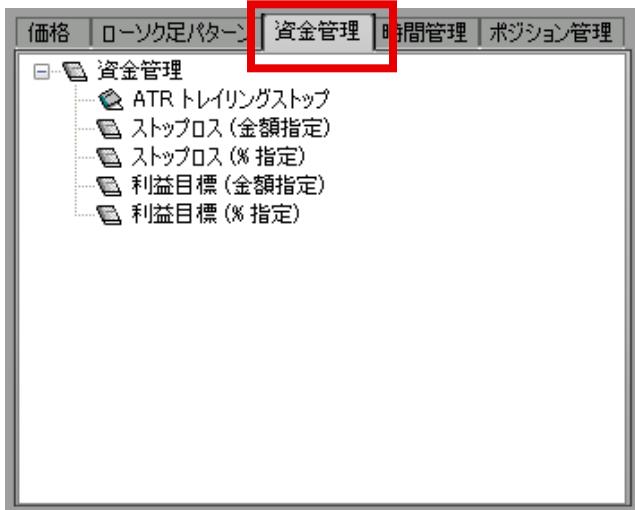
ローソク足パターンは、「酒田五法」によるパターン分析を用いたものとなります。価格の値動きによって形成されたローソク足のパターンからシグナルとするかどうかを判断します。

◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ 使用可能シグナル :

シグナルチャート上に表示させる売買シグナルを発信する元となるコマンドを選択する画面です。
「価格」「ローソク足パターン」「資金管理」「時間管理」「ポジション管理」から構成されています。
「資金管理」や「時間管理」は利益目標やストップロスの設定を行うコマンドになるため、
主に建玉を決済するときに使用します。

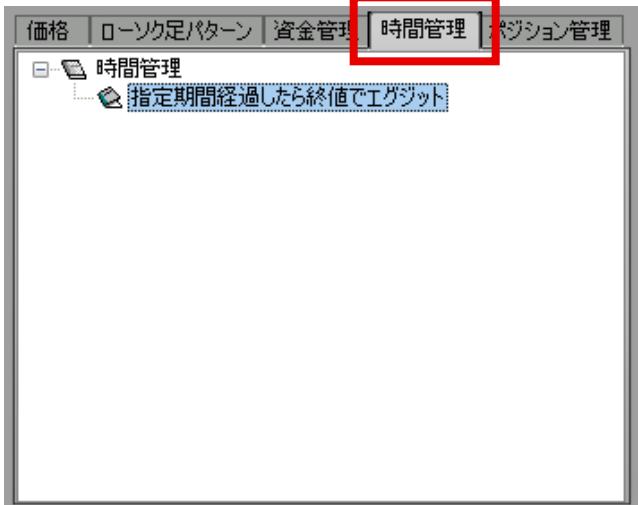


● 資金管理

資金管理は、売買シグナルにより新規建てされた建玉の利益確定・損失限定のシグナル発信管理に活用します。
選択できるコマンドはOR条件となるため、「利益目標」と「ストップロス」を組み合わせることで、OCOと同じような動作を行なうこともできます。

「50,000円評価益(損)が出たら決済」OR(それとも)、「建玉単価から0.5%相場が利益(損失)方向に変動したら決済」などOCO注文の応用版として活用できます。

※ 更にOR・ANDを指定して複数の条件を繋げて設定できます。



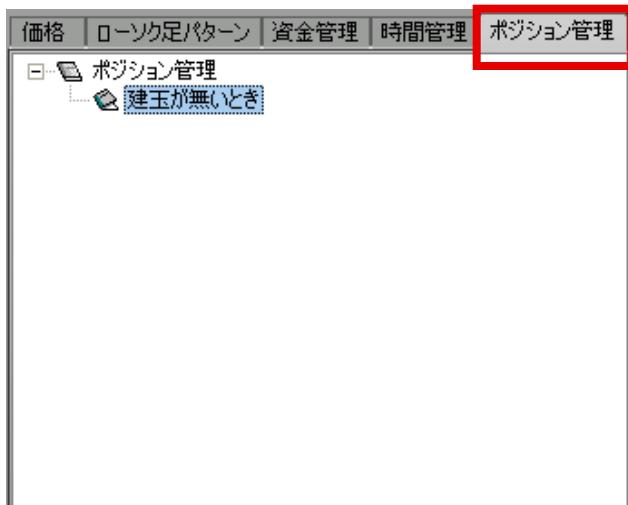
● 時間管理

時間管理は、先の「資金管理」と同様、売買シグナルにより新規建てされた建玉の決済・リスク管理に活用します。

5分足でシステムトレードをしている際に、新規売買シグナル発信後、ローソク足が24本分経過したら決済など、時間を指定できます。

OR・ANDを使用して他の決済シグナルと組み合わせることも可能です。

※ 5分ローソク足24本分：5分×24本=120分



● ポジション管理

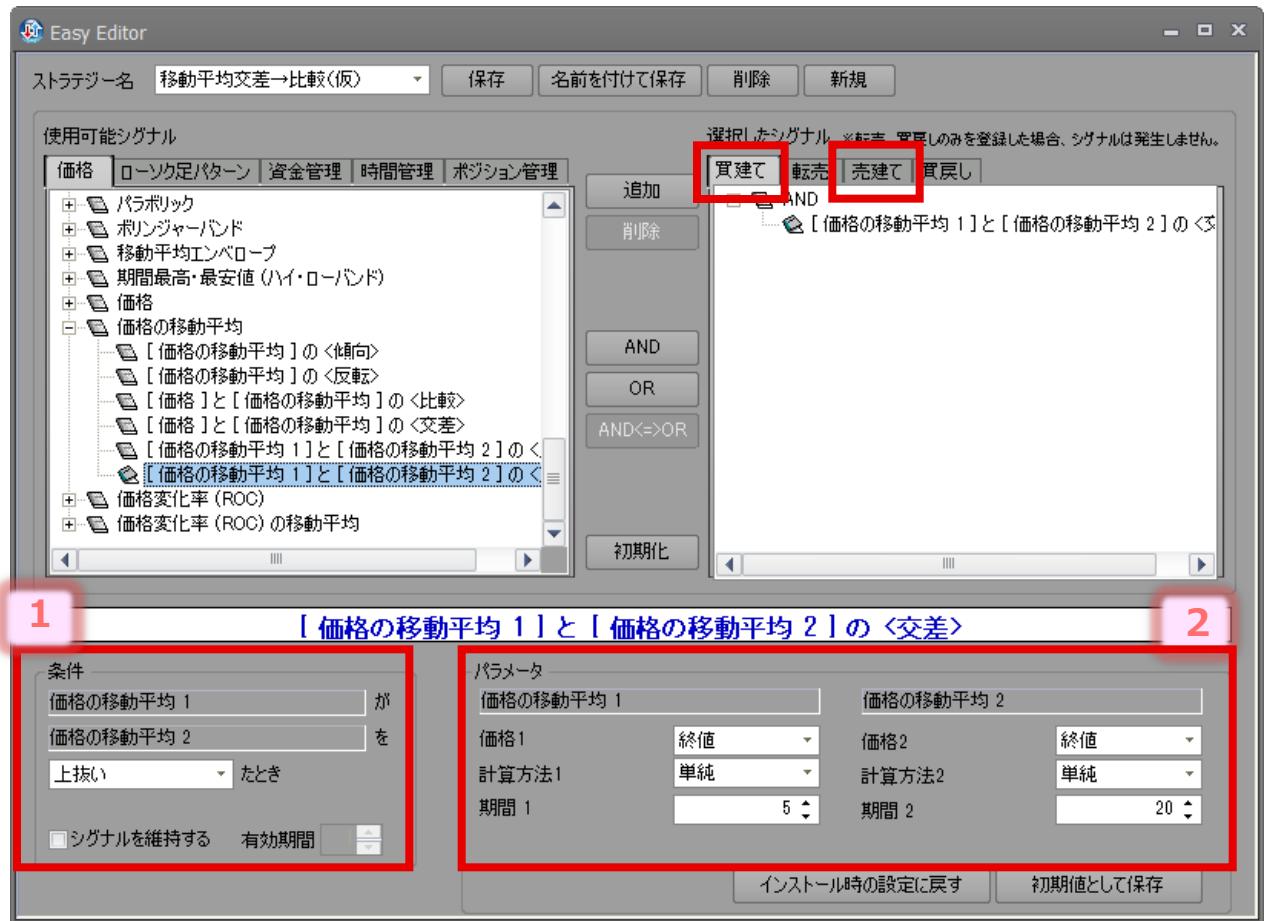
保有建玉が無いときに買いシグナルを発信することが出来ます。余分な買(売)増し建玉を作らないよう制御・リスク管理のために活用します。

◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ シグナル登録画面 :

ストラテジーは、「買建て」「転売」「売建て」「買戻し」によって構成されており、「買建て」と「転売」、「売建て」と「買戻し」または「買建て」と「売建て」あるいは全てのコマンドにシグナルを設定することで初めて機能します。買建→転売→買建の流れや、買建→ドテン売建→ドテン買建など組み合わせによって売買スタイルを調整することが出来ます。



● 買建て・売建て

「買建て」の場合、設定された条件に達したら買建玉を新規建てするための注文を発注します。発注する段階で「売建て」のシグナルによる売建玉がある場合は、保有売建玉を決済した後に、新規買建のドテン取引が成立します。売建ても買建てと同様、発注する段階でシグナルによる買建玉がある場合は、保有建玉を決済した後に、新規売建のドテン取引が成立します。

① 条件

買建て・売建ての売買シグナルを発信する条件を設定します。

①は、移動平均線1が移動平均線2を下から上に上抜いたときに買いシグナルを発信する設定です。いわゆるゴールデンクロスしたら買シグナルが発信されます。

② パラメータ

左記、条件内のテクニカル分析のパラメータを入力する項目です。移動平均線1と2の数値を入力します。

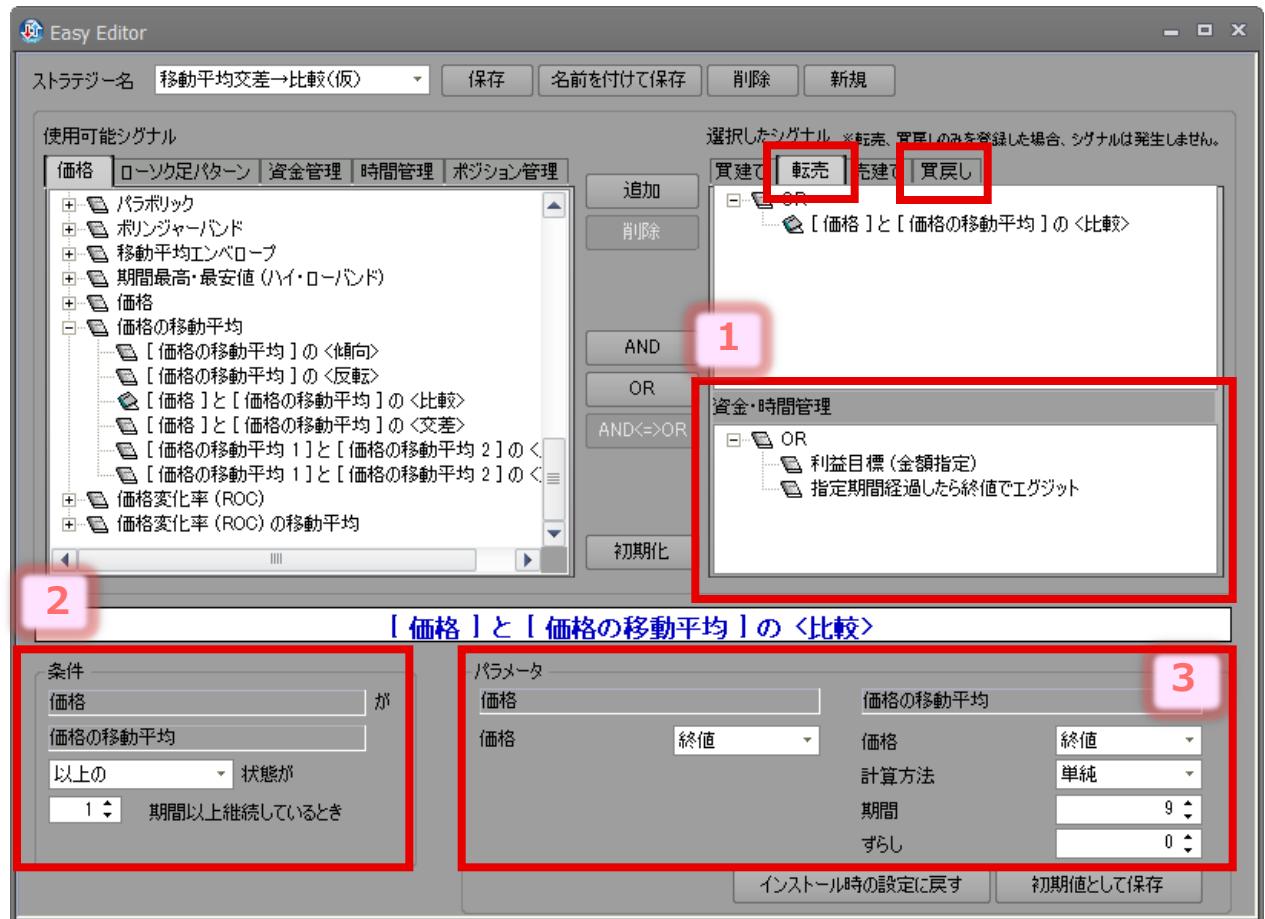
「5」は5日線。「20」は20日線を意味します。さらに「計算方法1・2」では、移動平均線の場合は単純か指数平滑、「価格1・2」では始値・高値・安値・終値のいずれかの数値で移動平均線が形成されるよう調整することができます。

◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ シグナル登録画面 :

ストラテジーは、「買建て」「転売」「売建て」「買戻し」によって構成されており、「買建て」と「転売」、「売建て」と「買戻し」または「買建て」と「売建て」あるいは全てのコマンドにシグナルを設定することで初めて機能します。買建→転売→買建の流れや、買建→ドテン売建→ドテン買建など組み合わせによって売買スタイルを調整することが出来ます。



● 転売・買戻し

「転売」は、設定された条件に達したら買建玉を決済するための注文を発注します。

「買戻し」は、設定された条件に達したら売建玉を決済するための注文を発注します。

「買建て」と「売建て」とは異なり、買(売)決済後にドテン取引にはなりません。一度決済された後、ポジションがスクエア(無し)となり次の新規売買シグナルを待つ状態となります。

① 資金・時間管理

本章P10参考

② パラメータ

転売・買戻しの売買シグナルを発信する条件を設定します。

②は、ローソク足終値が移動平均線1以上の状態が●●期間以上継続したときに転売もしくは買戻しシグナルが発信されます。●●期間とは、1期間=ローソク足1本分の考え方です。

③ パラメータ ※ずらし機能イメージはP9へ

左記、条件内のテクニカル分析のパラメータを入力する項目です。左記、移動平均線1の数値を入力します。「期間」の「5」は5日線。「ずらし」の数値を入力することで移動平均線全体を、数値のローソク足分、右側に平行移動する条件を設定することができます。「計算方法1・2」では、移動平均線の場合は単純か指數平滑、「価格1・2」では始値・高値・安値・終値のいずれかの数値で移動平均線が形成されるよう調整することができます。

◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ シグナル登録画面 :

ストラテジーは、「買建て」「転売」「売建て」「買戻し」によって構成されており、「買建て」と「転売」、「売建て」と「買戻し」または「買建て」と「売建て」あるいは全てのコマンドにシグナルを設定することで初めて機能します。買建→転売→買建の流れや、買建→ドテン売建→ドテン買建など組み合わせによって売買スタイルを調整することが出来ます。

※ “ずらし”機能イメージ



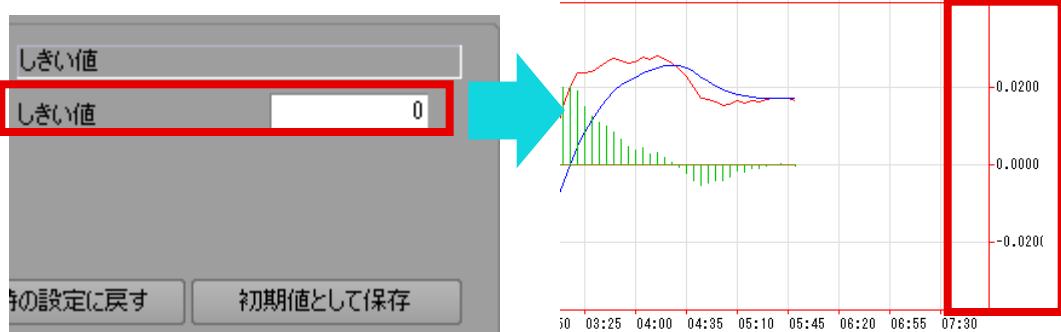
例として単純移動平均線75日線で、左記ずらしを5と設定した場合、ずらしを設定しなかった線と比較すると下記イメージになります。

赤い移動平均線が、75日線でずらしが「0」
青い移動平均線が、75日線でずらしが「5」

移動平均線の形状は全く同様ですが、青い移動平均線が右の未来の方向へずれて表示されているのが分かります。

※ Easy Editorでは「-5」とマイナスの数値を入力してストラテジーを作成することはできませんが、シグナルチャート上に表示するインジケーターの数値設定時に「-5」と入力することは可能です。マイナスの数値で設定した場合は、左の過去へずらして、移動平均線等を表示することが出来ます。

※ MACDなどオシレーター系を設定する場合の“しきい値”



しきい値とは、各オシレーターチャートのY軸(赤枠)の数値を表しています。設定したしきい値にMACD線がタッチしたら売買シグナルを発信させるなど設定が可能です。

しきい値単位参照：

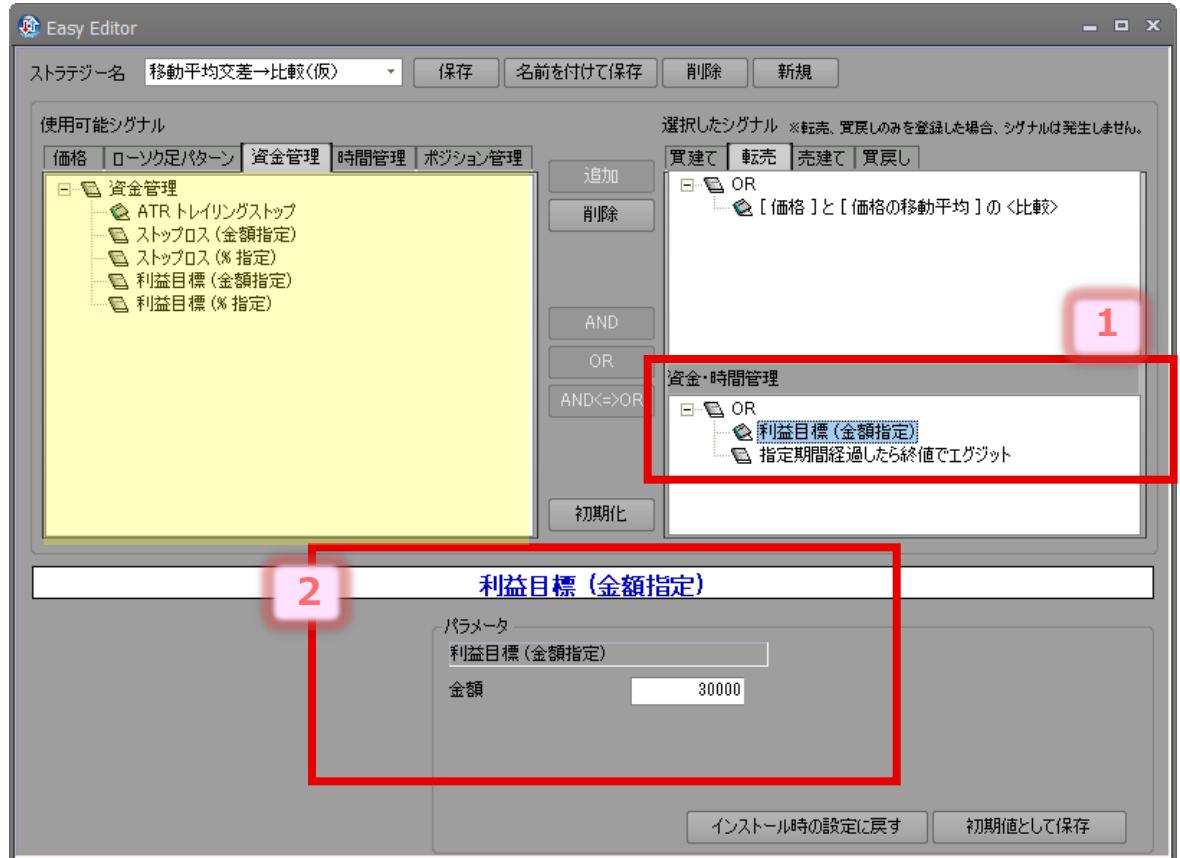
http://kabu.com/pdf/Eikpdf/service/sysfx_EasyEditor.pdf

◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ シグナル登録画面：資金・時間管理

資金管理・時間管理は、売買シグナルにより新規建てされた建玉の利益確定・損失限定のシグナル発信管理に活用します。転売・買戻しの決済シグナル設定時のみ使用可能なシグナルになります。



① 資金・時間管理

選択した資金・時間管理のシグナルが表示されます。

(OR) は、どちらか一方の条件を満たしたときに決済シグナルが発信します。 (AND) の場合は、両方の条件を同時に満たしたときに決済シグナルが発信します。そのためANDの場合はシグナル発生頻度が落ちます。※OR・ANDは複数設定可能です。

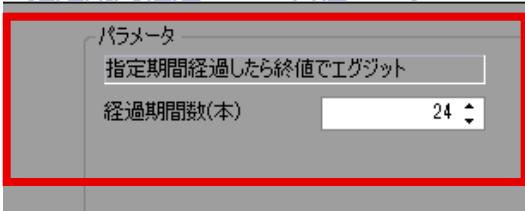
② 資金・時間管理の条件設定画面

選択したシグナルの条件を設定するスペースになります。上記例では、**利益目標（金額指定）**で30,000円と入力されています。10,000通貨の取引をした場合は、「3円（300pips）」利益方向への変動で、同設定で20,000通貨の取引をした場合は、「1.5円（150pips）」利益方向への変動で利確決済されます。

利益目標（%指定）の場合は、建玉単価に対して0.5%の利益方向への変動で利確決済する設定ができます。100.00円で買シグナルが出た場合、 $100.00 \times 0.5\% = 0.5\text{円} (50\text{pips})$ での決済となります。

* ストップロス設定も上記と同様の仕様です。

指定期間経過したら終値でエグジット



● 時間管理・指定期間経過したら終値でエグジット

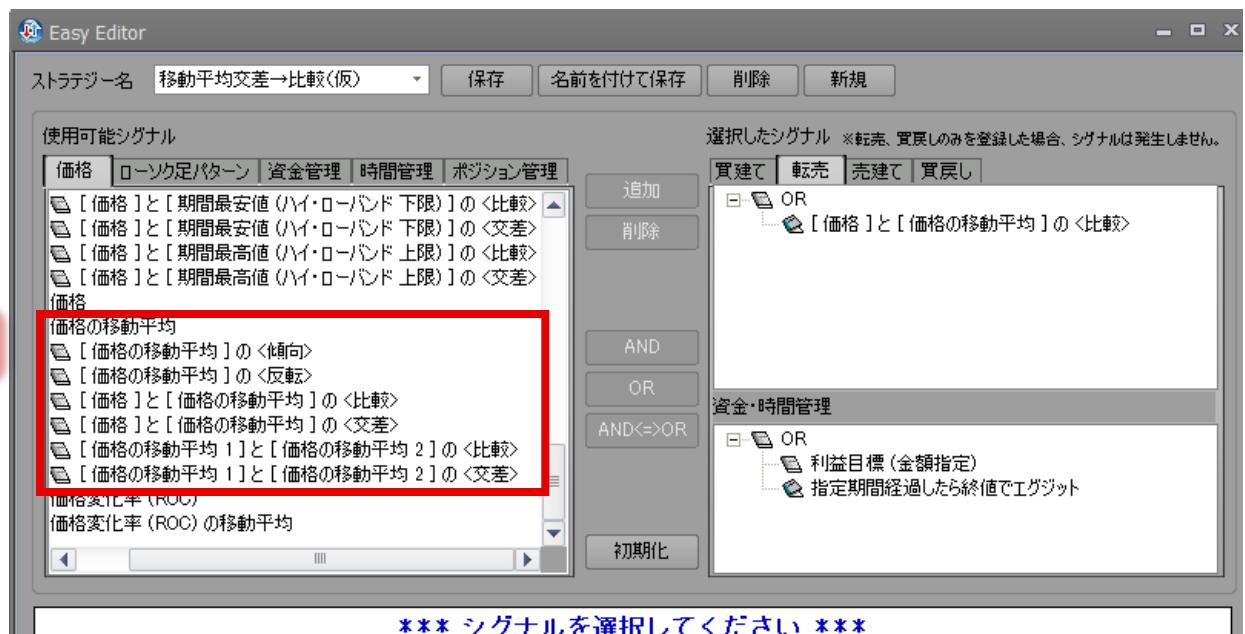
新規の売買シグナルが発生した後、左記経過期間数（本）分時間が経過したら決済されます。左記の24の数値で5分足の稼動の場合は、 $5\text{分足} \times 24\text{本分} = 120\text{分}$ （24本目の終値が形成されたら）経過したら決済されます。そのため、利確の場合もあれば、損切りになるケースもあります。

◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■選択したシグナルのパラメータ・条件設定画面のパターン：

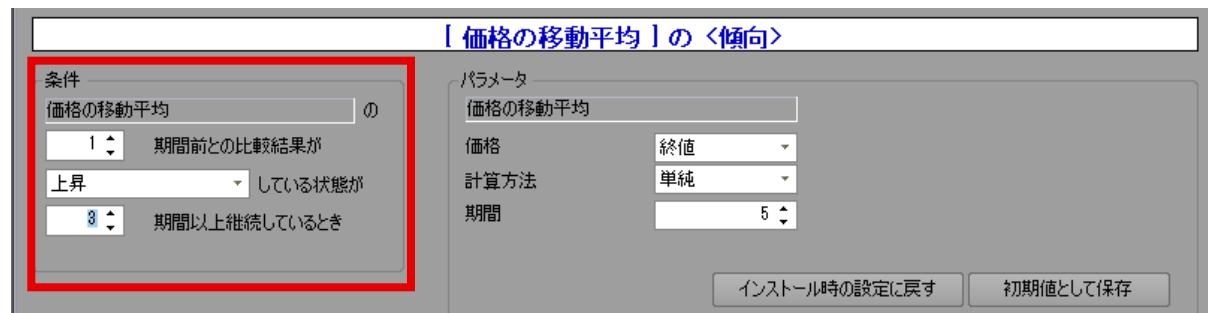
シグナルには、テクニカル分析（トレンド・オシレーター系）やローソク足の価格の動きから設定できるものなど多種多様ですが、シグナル内のパラメータ・条件設定画面パターンは一定です。主に「傾向」「反転」「比較」「交差」の4つのパターンに従って設定します。



① シグナルのパターン

上記赤枠内には「傾向」「反転」「比較」「交差」という一定の言葉が目に付きます。パラメータ・条件を入力する際は、この4つのパターンに従って設定します。

● 傾向（例）価格の移動平均の<傾向>

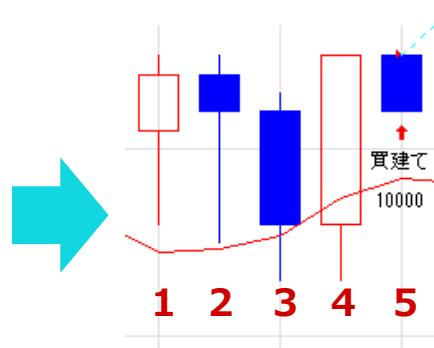


上記条件では、ローソク足1本前の移動平均線値との比較結果が、上昇している状態がローソク足3本以上連続して上昇したときにシグナルが発信されます。

* 売買シグナル発信イメージ

右の図では、1番の移動平均線の値よりも2～4番の値が連続して上昇したため、5番の始値近辺で買建てシグナルが発信しています。

* 条件を満たしたローソク足の次のローソク足の始値近辺で売買シグナルが発信します



◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■選択したシグナルのパラメータ・条件設定画面のパターン：

シグナルには、テクニカル分析（トレンド・オシレーター系）やローソク足の価格の動きから設定できるものなど多種多様ですが、シグナル内のパラメータ・条件設定画面パターンは一定です。主に「傾向」「反転」「比較」「交差」の4つのパターンに従って設定します。

● 反転（例）価格の移動平均の〈反転〉

【価格の移動平均】の〈反転〉

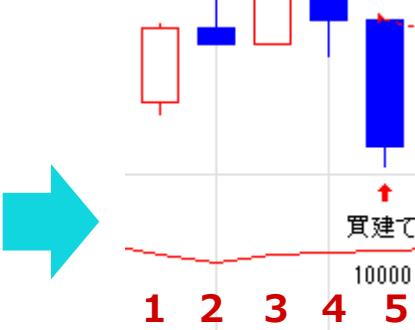
条件	パラメータ
価格の移動平均 の 3 期間前との比較結果が 下落から上昇 に転じたとき <input type="checkbox"/> シグナルを維持する 有効期間	価格の移動平均 価格 終値 計算方法 単純 期間 5
インストール時の設定に戻す 初期値として保存	

上記条件では、ローソク足3本前の移動平均線との比較結果が、下落から上昇に転じたときにシグナルが発信されます。

※ 売買シグナル発信イメージ

右の図では、4番の移動平均線の値が3期間前の2番のよりも大きいため、5番の始値近辺で買建てシグナルが発信しています。

※ 条件を満たしたローソク足の次のローソク足の始値近辺で売買シグナルが発信します



● 比較（例）価格と価格の移動平均の〈比較〉

【価格】と【価格の移動平均】の〈比較〉

条件	パラメータ	価格の移動平均
価格 が 価格の移動平均 が 以上の 状態が 3 期間以上継続しているとき	価格 終値 計算方法 単純 期間 9 ずらし 0	価格 終値 計算方法 単純 期間 9 ずらし 0
インストール時の設定に戻す 初期値として保存		

上記条件では、ローソク足の終値が移動平均線以上の状態が3期間（ローソク足3本）継続したときにシグナルが発信されます。

※ 売買シグナル発信イメージ

右の図では、2番～4番のローソク足終値が移動平均線以上の状態が継続したため5番の始値近辺で買建てシグナルが発信しています。

※ 条件を満たしたローソク足の次のローソク足の始値近辺で売買シグナルが発信します



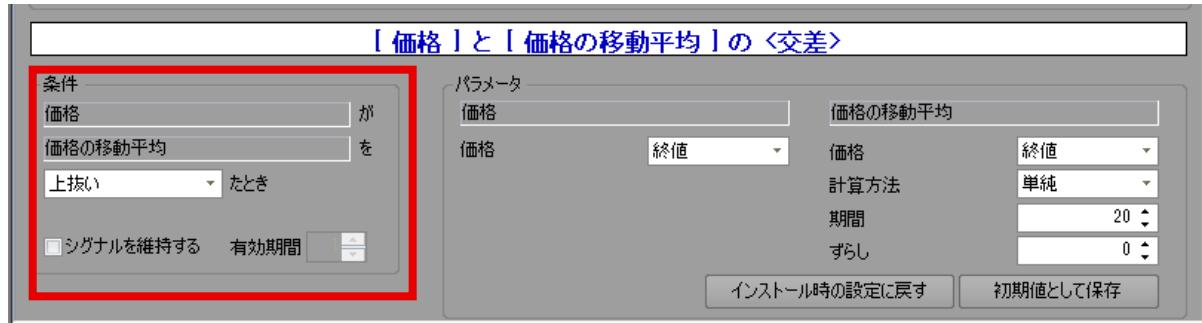
◇Easy Editorについて

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■選択したシグナルのパラメータ・条件設定画面のパターン：

シグナルには、テクニカル分析（トレンド・オシレーター系）やローソク足の価格の動きから設定できるものなど多種多様ですが、シグナル内のパラメータ・条件設定画面パターンは一定です。主に「傾向」「反転」「比較」「交差」の4つのパターンに従って設定します。

● 交差（例）価格と移動平均の〈交差〉

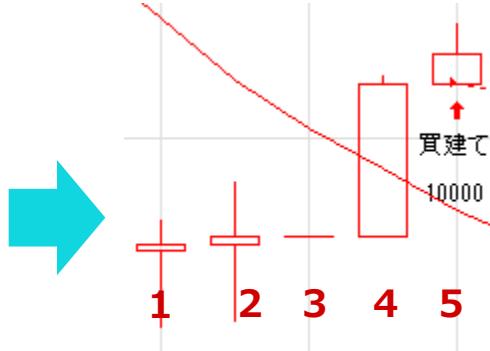


上記条件では、ローソク終値が移動平均線値を下から上へ上抜いたときにシグナルが発信されます。

※ 売買シグナル発信イメージ

右の図では、4番のローソク足の終値が移動平均線を下から上へ上抜いたため、5番の始値近辺で買建てシグナルが発信しています。

※ 条件を満たしたローソク足の次のローソク足の始値近辺で売買シグナルが発信します。



● 使用可能シグナルの種類について

上述の通り、「傾向」「反転」「比較」「交差」の4つのパターンに従って設定します。

本マニュアルでは価格の移動平均線に沿っての説明でしたが、下記のようにシグナルは多種多様です。

「+」をクリックすることで各シグナル毎に「傾向」「反転」「比較」「交差」の4つのパターンで詳細なシグナルを選択・設定することができます。

- + XR
- + XR の移動平均
- + ADX
- + ADXR
- + CCI
- + CCI の移動平均
- + DI-
- + DI+
- + MACD
- + MACD のシグナル線
- + MACD ヒストグラム
- + RCI
- + RSI (カトナー)
- + RSI (カトナー) の移動平均
- + RSI

- + RSI の移動平均
- + TRIX
- + TRIX の移動平均
- + サイクロジカル
- + サイクロジカルの移動平均
- + ストキャスティクス スロー D
- + ストキャスティクス スロー K
- + ストキャスティクス ファスト D
- + ストキャスティクス ファスト K
- + ボラティリティ (標準偏差)
- + 価格変化値 (モメンタム)
- + 価格変化値 (モメンタム) の移動平均
- + 移動平均乖離値
- + 移動平均乖離率
- + ATR バンド

- + スイングハイ・ロー
- + パラボリック
- + ポリンジャーバンド
- + 移動平均エンベロープ
- + 期間最高・最安値 (ハイ・ロー バンド)
- + 価格
- + 価格の移動平均
- + 価格変化率 (ROC)
- + 価格変化率 (ROC) の移動平均

◇お取引上の諸注意事項について

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ 必要証拠金とレバレッジコントロール：

システムトレード（全自動取引）をしていく上で、資金管理とレバレッジコントロールは重要なファクターです。注目したい項目やリスク管理についての諸注意事項をご説明します。

●必要証拠金とレバレッジコントロール

※ ブラウザ版の証拠金状況画面となります。シストレFXナビゲータの画面では、「口座管理」クリック→「証拠金状況」にて同様の画面がご参照になれます。

1	証拠金余力 3,708,458 円	口座ステータス	適正
	リアルレバレッジ 1.73 倍	証拠金維持率	1,443.32 %
	証拠金不足額 0 円		

2

証拠金余力
3,708,458 円

3

評価証拠金額	
= 3,984,524 円	
現金残高	1,219,147 円
代用有価証券評価額	2,695,770 円
受渡前損益	17,627 円
内 振替出金予定額	0 円
訳 振替入金予定額	0 円
評価損益	52,100 円
未決済スワップ損益	-120 円
手数料分	0 円

必要証拠金額	
276,066 円	
内 建玉必要証拠金額	276,066 円
訳 注文必要証拠金額	0 円

① リアルレバレッジ 画面を表示した時点の為替レートを元にリアルレバレッジが計算されます。「評価証拠金額」に対して、何倍の取引をしているかの表示となります。

<例> 100万円証拠金入金、USD/JPY100.00円で50,000通貨取引した場合
総約定代金 : 5,000,000円 = USD/JPY100.00円×50,000通貨

レバレッジ = 総約定代金 : 5,000,000円 ÷ 入金証拠金 : 100万円 = 5倍

※ 評価損益・受渡前損益などは考慮していません

長く為替相場と付き合い、トレードしていくためには5倍以内が目安となります。

② 証拠金維持率

評価証拠金額 ÷ 必要証拠金で算出されています。

毎営業日クローズ時点で **100%** を切ると追証に、取引時間内に

75% 水準に達すると強制ロスカットとなります。

追証水準である100%まで、どの程度の余力があるのかを確認できる項目が「証拠金余力」となります。

③ 証拠金余力

評価証拠金額 - 必要証拠金で算出されています。

証拠金余力が“0”となり、

必要証拠金額 = 評価証拠金額 の状態が追証水準となります。

レバレッジで言う25倍の状態です。ポジション削減の手段などが必要です。

◇お取引上の諸注意事項について

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ その他仕様上の注意事項

システムトレード（全自動取引）を使用するにあたって抑えておきたい仕様と注意を説明します。

● 複数通貨ペア・同一通貨ペアの同時全自動取引

同じ通貨ペアで全自動取引をする場合、ストラテジーとポジションが紐付けされませんので、他ストラテジーのシグナルでFIFO決済が適用されたり意図していない両建取引に繋がりますので、パフォーマンスレポート通りの成績にならないケースや、ポジションが決済されずに残ってしまうケース※が想定されます。

※ 保有建玉以上の転売・買戻しシグナルが出た場合、決済エラーになり保有建玉が残ります。

残った状態で新規売買シグナルが発生することになりますのでご注意ください。

● Tick足での全自動取引について

Tick足などの超短期で形成されるチャートでシステムトレード（全自動取引）を利用した場合、各通貨ペアのスプレッド分の利益を出す前に決済シグナルが発生するケースは多々あります。

どんなに優秀なストラテジーでも秒単位で形成されるチャートでは機能しないケースがほとんどです。

下記のパフォーマンスレポートは1日間、Tick足チャートで運用した結果となります。

スプレッド分の評価損からトレードが開始されるため、ほぼ損切りで終わってしまいます。

パフォーマンス要約

USDJPYB:USD/JPY 売(BID) - 1 ティック

期間: 2014/09/12 ~ 2014/09/13

パフォーマンス要約

	全体	買いトレード	売りトレード
合計損益	-109,880.00	-109,880.00	0.00
未決済建玉損益	0.00	0.00	0.00
トレード回数合計	2,501	2,501	0
トレードあたり平均損益	-43.93	-43.93	計算不能
勝ちトレード回数	726	726	0
負けトレード回数	1,775	1,775	0
最大連続勝ちトレード数	11	11	0
最大連続負けトレード数	31	31	0
勝率	29.03 %	29.03 %	0.00
総利益	38,820.00	38,820.00	0.00
総損失	-148,700.00	-148,700.00	0.00
プロフィットファクター	0.26	0.26	計算不能
最大利益	340.00	340.00	0.00
最大損失	-1,230.00	-1,230.00	0.00
平均利益	53.47	53.47	計算不能
平均損失	-83.77	-83.77	計算不能
損益率	0.64	0.64	計算不能

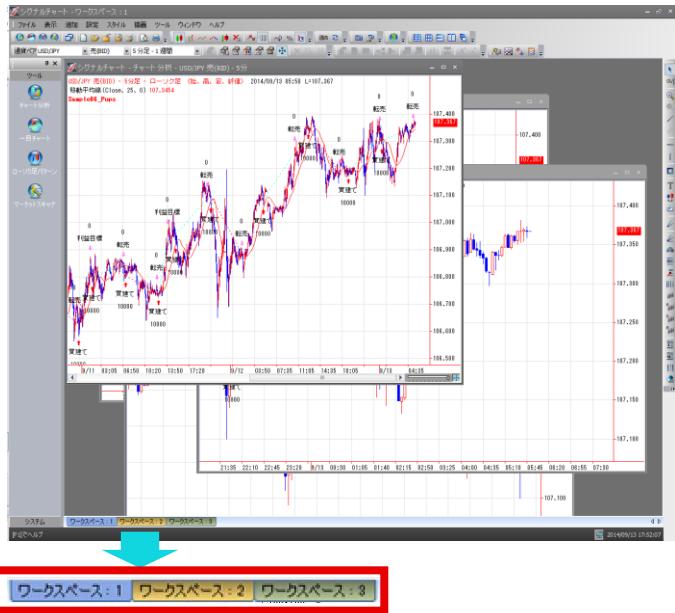
◇お取引上の諸注意事項について

Copyright© 2001-2014 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■ その他仕様上の注意事項

システムトレード（全自動取引）を使用するにあたって抑えておきたい仕様と注意を説明します。

● シグナルチャート表示枚数・ワークスペース管理



赤枠のようにワークスペースを複数作成することも可能です。また左記スクリーンショットのように、同ワークスペース内に複数のシグナルチャートを表示することも可能です。

そのため、1画面に1枚のシグナルチャートを最大化して表示した場合、他のチャートが後ろに隠れてしまいます。適宜最小化したりチャートの大きさを調整し後ろに隠れたチャートが無いかどうかのご確認をお願いします。

隠れたチャートがある状態で、各シグナルチャートにストラテジーを登録し、登録解除をお忘れのまま全自動取引を開始した場合、各ストラテジーが同時稼動してしまう危険性があり、証拠金不足による強制決済や意図しないパフォーマンスの原因となりますので、シグナルチャート・ワークスペース管理にはくれぐれもご注意くださいませ。

● 全自動取引利用中に電源OFFにした場合

スクリーンセーバー時はご利用可能です。

PCの電源OFF状態、スタンバイモード、スリープモード、休止モードいずれもご利用は不可となります。

自動的にスリープモードとなってしまう場合は、スリープモードにならないようお客様ご自身でご設定いただく必要があります。

●ご注意事項

- 証券投資は価格の変動等により投資元本を割り込むことがあります。お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- システムFXは元本や利益を保証するものではなく為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。取引金額がお客様が預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、外国為替相場や各国通貨の金利の変動等によりお客様に損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額は、お客様が預託されている証拠金の額を上回る可能性があります。本取引において提示する売値と買値の間には差額があります。お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みください。
- 手数料：システムFX 無料 証拠金（1万通貨あたり）：システムFX 建玉金額の4%
- 詳細および最新情報は当社ホームページ (<http://kabu.com>) にてご確認ください。
- ◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちら
→ <http://kabu.com/info/escapeclause.asp>
- ◆ご意見・苦情について（当社以外の窓口）特定非営利活動法人
→ 証券・金融商品あっせん相談センター 電話：0120-64-5005

カブドットコム証券株式会社

金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号

銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号

加入協会：日本証券業協会、金融先物取引業協会

2014年9月17日更新